

まちかどネットワーク



上椀 洋子さん
(三ツ沢)

日本編物手芸新作コンクールで
文部科学大臣賞を受賞した



「13年前、海外でハーダンガー刺しゅうに出会いました。帰国後、日本編物手芸協会の講座を受講し多くの作品をつくるにつれ、より魅力を感じるようになりまし。昨年、コンクールでは次席入賞だったので、ことはさらさら上を目指して作品をつくりまし。受賞したときは、努力が実ったうれしさと、頑張ればできるんだという自信を得まし」と話します。

本編物手芸新作コンクールで、上椀洋子さんが最高賞の文部科学大臣賞を受賞まし。ノルウェーのハーダンゲル地方の伝統技法「ハーダンガー刺しゅう」でつくられた受賞作品は、約80センチ四方の大ききで、9か月かけて制作されまし。



「ハーダンガー刺しゅうの魅力は、見た目より簡単に始められること。作品がエレガントに仕上がるので、大きな満足感を得ることができまし。また特徴である抜き（すき間）をつくるために生地を裁断しまし。このときの『後には戻れない』という緊張感も魅力の一つです。今後は、より多くの人にハーダンガー刺しゅうを知ってもらうために、作品制作とともに講師としての活動にも力を入れていきたいです」と笑顔で話してくれまし。



磯江 月希乃さん
(松岡)

ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会で3位入賞した



8月に開催された第42回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」の女子100メートル自由形13・14歳区分で、富士中3年の磯江月希乃さんが3位に入賞まし。標準記録に達していることが出場条件となっている同大会に、磯江さんは小学5年生から毎年出場しています。「昨年、初めて決勝に出場することができまし。昨年の記録を超えたいという思いと、日本代表合宿への参加条件である『ナショナルタイム』を切りたいという目標を持ち出場まし。ナショナルタイムには達することができず悔しい気持ちもありますが、初めて表彰台に登ることができてうれしかったです」と話します。



大会後、課題を克服するために体幹などを鍛える新たなトレーニングも始めたという磯江さん。日々成果を感じているそうです。「来年から高校生になりますが、上級生にも負けないう努力しまし。ナショナルタイムを切り、日本代表のジャージに袖を通したいです。そして将来は、日本代表としてオリンピックに出場したいです」と意気込みを話してくれまし。

★我が家のアイドル大募集!!
あなたの子どもの写真とコメントを募集しています。
ご応募の際には、
①子どもの写真(顔全体が写っている横写真)
②子どもの氏名(ふりがな)・生年月日
③20文字程度のコメント
④応募者の住所・氏名・電話番号
※掲載の際にシタイプロモーション課から連絡し、必ず連絡がとれる連絡先を明記してください。
詳しくはシタイプロモーション課まで。
☎(55)2700 ⑤(5)1456
✉so-citypro@div.city.fuji.shizuoka.jp



渡辺 直想ちゃん (松岡)

R1.8.25生

「かわいいお姫様が誕生しまし」



山崎 智晴ちゃん (大淵)

R1.8.19生

「どんな風に育つのかな?これから一緒に頑張ろう!」

